

副専攻名 中国語学中国文学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

中国文学に興味のある学生には文学関係の科目を集中して履修できるように、中国語に対して言語学的興味をいだく学生も集中して履修できるように、科目を選択した。個性的な学習方法をとれると同時に、中国現代事情に興味をいだく学生に対しても新聞時事中国語についての科目を配置した。

副専攻の学習成果

自分の興味をいだいた中国言語文化の分野について、それぞれ基礎的な知識を獲得し、かつ履修後の自学自習に際しても適格な参考文献捜査力を身につけることができる。

副専攻を構成する科目

| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 前期 | 後期 |
|-------|-----------|--|----|----|----|
| 11034 | 中国語学概説A | 中国語スクールグラマーの知識を基礎とし、中国語を分析する基礎知識及び基礎技能を習得する。 | | | |
| 11035 | 中国語学概説B | 中国語音声に関する知識を習得しながら、比較対照の観点から日本語や英語の音声との差異を考察し、音声分析の方法を学ぶ。 | | | |
| 11036 | 中国文学概説 | 中国近現代文学の各ジャンルについて学び、原典講読を通じて作品分析の方法や理論を習得する。 | | | |
| 42001 | 中国の文化と社会 | (1)文化・社会論および歴史に関する中国語表現を学習する。(2)中国文化・社会論の講義に触れ、自国の文化や社会への理解を深める。 | | | |
| 42002 | 漢文学概説 | 中国古典の各ジャンルと古代文化の特質を理解する。 | | | |
| 42003 | 漢文学史A | (1)中国古代・中世の文語体文学の歴史について学ぶ。(2)中国古典の読解を通じ外国の文化、思想について理解を深める。 | | | |
| 42004 | 漢文学史B | (1)中国近世の文語体文学の歴史について学ぶ。(2)中国古典の読解を通じ外国の文化、思想について理解を深める。 | | | |
| 42005 | 中国文学史A | (1)中国古典白話文学に親しみ、作品の背景にある通俗文化について理解を深める。(2)作品研究に必要な分析方法と理論を学ぶ。 | | | |
| 42006 | 中国文学史B | (1)中国近現代文学に親しみ、作品の背景にある歴史的な脈を理解する。(2)作品研究に必要な分析方法と理論を学ぶ。 | | | |
| 42007 | 中国語史 | 中国の伝統的学問分野である「小学」に関する基礎的な知識を身につけ、古典中国語を読解するための基礎とする。 | | | |
| 42008 | 中日対照言語学 | 和文中訳や中文和訳での誤用例を、中国人留学生とともに分析しながら、ともに母語からの干渉の有無を検討しあう。 | | | |
| 42009 | 中国言語文化研究A | 中国の言語文化に関する多様な研究を理解できる。 | | | |
| 42010 | 中国言語文化研究B | 中国の言語文化に関する多様な研究を理解できる。 | | | |
| 42011 | 中国言語文化研究C | 中国の言語文化に関する多様な研究を理解できる。 | | | |

副専攻名 中国語学中国文学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

中国文学に興味のある学生には文学関係の科目を集中して履修できるように、中国語に対して言語学的興味をいだく学生も集中して履修できるように、科目を選択した。個性的な学習方法をとれると同時に、中国現代事情に興味をいだく学生に対しても新聞時事中国語についての科目を配置した。

副専攻の学習成果

自分の興味をいだいた中国言語文化の分野について、それぞれ基礎的な知識を獲得し、かつ履修後の自学自習に際しても適格な参考文献捜査力を身につけることができる。

副専攻を構成する科目

| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 前期 | 後期 |
|-------|---------------|---|----|----|----|
| 42012 | 中国語学研究A | 中国語の文法課題の種類と、現在定説化している解釈および概念用語を理解する。 | | | |
| 42013 | 中国語学研究B | 中国語の基礎語彙について、歴史的変化を文献資料によって跡付け、中国語史に関する文献的アプローチの方法を学ぶ。 | | | |
| 42014 | 中国文学研究A | 芸能文献の読解力を養い、中国語資料の収集分析能力を身につける。 | | | |
| 42015 | 中国文学研究B | 原典の精読や映像鑑賞を通して専門のテーマに関する高度なコミュニケーション能力を身につける。 | | | |
| 42016 | 現代中国語文法研究 | 中国語を言語学的視点から理解できる能力を養う。日本語や英語と比較することにより、言語類型論的視野を養い、分析への興味をもてる。 | | | |
| 42017 | 中国音韻方言研究 | 中国語の多様性の実態をみることで“普通話”の性格を考える契機とし、言語地理学の方法等を学ぶことで方言研究のおもしろさを体得する。 | | | |
| 42018 | 中国語コミュニケーションA | 目安として、中国語検定3級(語彙数3000前後)又はHSK5級程度をクリアできる能力を身につける。 | | | |
| 42019 | 中国語コミュニケーションB | 目安として、中国語検定3級(語彙数3000前後)又はHSK5級程度をクリアできる能力を身につける。 | | | |
| 42020 | 中国語コミュニケーションC | 中国語の基礎的文法事項をマスターし、中国語検定3級(語彙数3000前後)又はHSK5級程度をクリアできる読解と発音の能力を身につける。 | | | |
| 42021 | 中国語コミュニケーションD | 目安として、中国語検定3級(語彙数3000前後)又はHSK5級程度をクリアできる能力を身につける。授業中、積極的に中国語で発言する。 | | | |
| 42022 | 中国語表現法A | (1)使用できる中国語の語彙数を増加させる。2年の時に用いた教材を徹底的に復習する。(2)読解内容を基礎文型やイディオムを習得する。 | | | |
| 42023 | 中国語表現法B | (1)議論に必要な中国語表現のパターン、模範的文例を多く習得する。(2)自分の問題意識を正確に伝える表現力を訓練する。 | | | |
| 42024 | 現代中国時事文A | 多様な中国関係の報道に対して、自己の見解を確立していく。 | | | |
| 42025 | 現代中国時事文B | 現代中国時事文Aや表現法Aで履修した語彙・文型を駆使して議論できること。 | | | |

副専攻名 中国語学中国文学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

中国文学に興味のある学生には文学関係の科目を集中して履修できるように、中国語に対して言語学的興味をいだく学生も集中して履修できるように、科目を選択した。個性的な学習方法をとれると同時に、中国現代事情に興味をいだく学生に対しても新聞時事中国語についての科目を配置した。

副専攻の学習成果

自分の興味をいだいた中国言語文化の分野について、それぞれ基礎的な知識を獲得し、かつ履修後の自学自習に際しても適格な参考文献捜査力を身につけることができる。

副専攻を構成する科目

| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 前期 | 後期 |
|-------|-------------|---|----|----|----|
| 42026 | 中国語文献読解基礎A | 中国語の文体差と四字成句の由来、現在の日本での用法のずれを理解する。 | | | |
| 42027 | 中国語文献読解基礎B | 現代作家又は当代作家の作品又はアンソロジーの講読を通じて、正確な発音と読解力の向上を目指す。 | | | |
| 42028 | 中国語文献読解基礎C | 1)中国の民間文学について基礎的な知識を身につける。2)現代中国語で書かれた民間文学の作品を読解する力を養う。 | | | |
| 42029 | 中国語学演習A | 漢語方言に関するテキストを演習形式で講読し、方言分類と方言地理学の方法を学ぶ。 | | | |
| 42030 | 中国語学演習B | 単語別の意味記述の方法について、辞書の比較作業を通して問題点を見出す。また、その問題点を解決してレポートにする。 | | | |
| 42031 | 中国文学演習A | 中国小説の読解力を養い、小説を分析する方法論や理論を習得する。 | | | |
| 42032 | 中国文学演習B | 現代中国事情を理解し、近現代文学の作品を読み解く能力を習得する。 | | | |
| 42033 | 中国語学テーマ別演習A | 対照研究に必要な概念用語と定義を理解し、レポート作成に活用できるようにする。卒論でとりあげる具体的言語資料に応じた理論構成ができるようにする。 | | | |
| 42034 | 中国語学テーマ別演習B | 方言地理学の一連の作業と考察を通じて、複雑な事象から問題を発見し、解決していく能力を身につける。卒論につながる実践的研究の手がかりとする。 | | | |
| 42035 | 中国文学テーマ別演習A | (1)中国古典詩文の原典講読を通じて文言文の読解力を向上させる。(2)先行研究の成果を把握し、作品研究の方法を学ぶ。 | | | |
| 42036 | 中国文学テーマ別演習B | (1)中国古典詩の原典講読を通じて、文言文の読解力を向上させる。(2)先行研究の成果を把握し、作品を分析する方法論を習得する。 | | | |